

令和2年11月定例教育委員会会議録

- 日 時 令和2年11月19日(木) 午後3時～午後3時22分  
○場 所 榑引庁舎 3階 教育委員室  
○出席委員 教育長 布川 敦  
1番 田中 芳昭(教育長職務代理者)  
2番 清野 康子  
3番 毛呂 光一  
4番 齋藤 美緒

出席議事説明職員氏名

参事兼藤沢周平記念館長	鈴木 晃	参事兼管理課長	鶴見 美由紀
参事兼給食センター所長	井上 克浩	学校教育課指導主幹	秋山 尚志
社会教育課長	三浦 裕美	社会教育課文化財主幹	沼沢 紀恵
中央公民館長	高橋 厚子	図書館主査	松浦 幸子
スポーツ課長	齋藤 匠	スポーツ課主幹	阿部 三成
榑引庁舎総務企画課長	菅原 正一		

出席事務局職員氏名 管理課庶務主査 本間 陽子

会議次第

1. 開会
2. 市民憲章唱和
3. 協議 教委第1号 委員の議席の決定について
4. 会議録署名委員の指名
5. 議事  
日程第1 議第23号 市議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の申出について  
(非公開)
6. 報告事項  
(1) 指定管理者の指定について(鶴岡市榑引生涯学習センター)  
(2) 令和2年度鶴岡市民俗芸能交流発表会について  
(3) シルクノチカラ2020について
7. 閉会

開 会（午後3時）

教育長 ただいまから11月の定例教育委員会を開会する。はじめに、市民憲章の唱和を行う。

（図書館長が先唱し、市民憲章唱和）

教育長 皆様もご存じのとおり、先の9月市議会において議会の同意をいただき、11月12日付けで齋藤美緒委員が教育委員に再任された。それでは齋藤委員よりご挨拶をお願いします。

（齋藤委員挨拶）

教育長 引き続きよろしくお願ひしたい。それでは、教委第1号委員の議席の決定についてお諮りする。齋藤委員の再任に伴い、教育委員に変更がないことから、委員の議席番号についてはこれまでと同様としてよろしいか。

教育委員 異議なし。

教育長 では、齋藤委員の議席番号については、これまでと同様の4番とする。

教育長 本日の会議録署名委員は3番委員をお願いします。

本日の議事である議第23号は議会に上程される前の議題のため、非公開とすることにご異議はないか。

教育委員 異議なし。

教育長 異議なしと認め、議第23号は非公開とする。

（会議録は別記録とする）

教育長 予定された議事は以上である。次に、報告事項に入る。

最初に、鶴岡市榎引生涯学習センターの指定管理者の指定について、事務局より説明をお願いします。

榎引庁舎 鶴岡市榎引生涯学習センターの指定管理者の指定について報告する。

総務企画課長 ただいまの議事では、教育委員会の所管施設である丸岡城跡史跡公園の指定管理者の指定についてご承認いただいたが、鶴岡市榎引生涯学習センターは市長部局からの事務委任施設のため、議事ではなく報告とさせていただく。

鶴岡市榎引生涯学習センターの指定管理者を指定するにあたっては、鶴岡市榎引公民館を鶴岡市榎引生涯学習センターへ改変した平成30年度から、榎引地域生涯学習振興会を指定管理者としてきた。その指定管理期間が、令

和3年3月で満了となる。そこで、次期の指定管理について、10月9日付けで、現在の指定管理者である櫛引地域生涯学習振興会からの申請を受け、10月29日の指定管理者選定委員会において、担当課による評価案を審査・検討し、当該団体が指定管理者として適当であるとする結論を得た。

なお、指定の期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間とするものである。

12月の市議会定例会に提案することとなるので、承知方宜しくお願ひしたい。

教育長

この件について、ご質問等はないか。なければ次に、令和2年度鶴岡市民俗芸能交流発表会と、シルクノチカラ2020について、事務局より続けて説明をお願いする。

社会教育課  
文化財主幹

12月6日午後1時30分から荘銀タクト鶴岡大ホールを会場に、令和2年度鶴岡市民俗芸能交流発表会を開催する。この発表会は、市内各地域に保存継承されている数多くの民俗芸能を広く市民の皆様にご覧いただくとともに、担い手の皆さんの発表の機会の創出、また貴重な文化を次世代につなげていくための交流の場として活用していただくために、昨年度から開催しているものである。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、祭礼は神事のみなど各保存会の活動も自粛され、発表の機会を失っているなか、今回の発表会を地域の活力を高める大事な機会と捉えている。

出演団体は、越中山神楽保存会、大山いざや巻保存会、加茂泊町大黒舞保存会、山王日枝神社獅子舞社中、山五十川古典芸能保存会の5団体である。お配りしたチラシの裏面に各団体の内容が記載されているので、ご覧いただきたい。

また、この交流発表会は、民俗芸能保存団体同士が協力して自主的に活動していく組織づくりの一助となることも見据え、民俗芸能の継承意識の醸成、高揚につなげることも目的としている。是非、会場に足を運んでいただきたく、ご案内申し上げます

続いて、シルクノチカラ2020についてのご案内である。旧庄内藩士により開墾された松ヶ岡開墾場に日本最大の蚕室群が建設され、国内最北端の絹産業の地として発展してきた。平成29年度には、鶴岡に息づくシルクの物語と文化財が評価され、日本遺産「サムライゆかりのシルク 日本近代化

の原風景に出会うまち鶴岡へ」が認定されている。

シルクノチカラ2020は、鶴岡の将来を担う若者たちとシルクに関わる多くの方々の取組の発表を通して、日本遺産とシルクの魅力と可能性に触れ、新たな鶴岡のまちづくりについて考えるイベントである。今回は市内3つの高校から、シルクに関連した活動や研究の発表を予定している。

今年はコロナの関係で、授業開始が遅れ、このイベントへの準備期間が非常に短く、開催が厳しいのではと周りの大人が心配されたとのことであるが、生徒のみなさんからの是非発表したいという思いを受け、開催に至ったと聞いている。

11月22日午後1時30分から、荘銀タクト鶴岡大ホールを会場に開催されるので、お時間があれば是非会場に足を運んでいただきたくご案内申し上げます。

教育長

この件についてご質問等はあるか。ほかに報告はないか。なければこれをもって11月の定例教育委員会を終了する。

閉 会 （午後3時22分）